

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援そらいろ（利用児童がない）		公表日		2026年 2月 27日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○		・子どもの状態や補助などの配慮を職員で共有しながら、必要な職員配置をしている。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○				
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○			・庭が散らかりやすい。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		・子どもの様子や状態、意思に合わせて、部屋を分けたりしながら、安心して過ごせる環境づくりをしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		・職員会議にて、目標の確認は振り返りをする機会を設定し、意見を交換している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		・職員会議で話し合っ改善に努めている。・職員会議などで、保護者の方のご意見や意向を職員で共有し、改善策を話し合う場を設けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		・話し合っていると思う。打ち合わせ等で。・職員会議等で、職員の意見交換をする場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○		・第三者を募る方法や仕組みづくりの検討を行っている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		・外部研修や事業所内での研修について年間計画を立て、研修内容、開催や受講時期、担当者、参加者を見える化して共有し、それに沿って機会を確保している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		・作成した支援プログラムを、ホームページで公表し、誰でも閲覧できるようにしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		・対象の子どもに関わる職員全員からの意見の収集を行い、検討をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○			・アセスメントツールが出来上がっていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		・活動前後に、打ち合わせや振り返り時間を確保し、リーダーを中心に職員で意見交換をしながら、活動プログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		・過去の活動計画書を見返して活動内容が固定化しないようにしたり、その時の子どもの様子や状況に配慮した活動作りを行っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			・打ち合わせの時間を設定し、活動内容や役割分担、子どもの個別配慮について共有認識を持ち、支援を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・当日の振り返りが難しい場合は、翌日に設けたり、リーダーが中心に職員からの振り返りや意見を収集して、情報共有ができるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			・子どもの支援に合った職員が担当となって支援記録を書き、その内容を職員全員が見て共有できるようにしており、打ち合わせや職員会議で気になる点や改善点について話し合いをしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			・状況に応じて学校の先生と連携会議を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			・就学前相談に同行し、連携している。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・対象の子どもがいる場合には、提供できるようにしている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・地域の公園での活動の際は、遊びを通して地域の子どもたちと触れ合う機会となっている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			・把握できておらず分からない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			・送迎時に保護者と会う際や、連絡ツールを用いて、子どもの活動の様子を伝えるようにしており、保護者の意見も聞きながら共通理解を持てるように配慮している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者交流ができる場づくりと、家族と一緒に参加できる企画を設けている。・オリエンテーションや焼き芋交流会の実施・今年は保護者や兄弟児も参加する行事を計画した。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・ホームページに活動様子を紹介した記事を書いたり、Instagram開設をして幅広く発信できるよう準備をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・招待する企画等は開催できていないが、地域の方との日頃からの関係づくりを意識しており、地域の方から子どもたちのために、本や生き物、季節の食べ物等をいただいている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・把握はしているが、医師の指示書はない。書面で保護者の方に確認をとっている。・今年度は対象の子どもはいない。いる場合は、保護者と連携して病院の診断や対応等について情報共有と周知をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・打ち合わせや会議で共有し、再発防止の対策を考え、実行できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				